

COVID-19に打ち勝ち 健康寿命を延ばす



理事長
石川 博一

当事業団も公益財団法人へ移行して10年の節目を迎えます。

これまで「また来たいと言っただけの診療所、健診センター」となれるよう、公益財団としての理念を実現すべく精進してまいりました。

令和2年1月から始まったCOVID-19の世界的感染拡大により、生活様式が大きく変化し、医療機関においても被害は甚大であり、公益活動が制限され大きく変更せざるを得ませんでした。また受診者、医師・職員の安全を確保して公益事業を行いつつ、安定的継続的な運営を行うことが困難な年度でした。

このような環境下、3密を避けるために健診での時間帯別予約を実施したり、電話診療を取り入れ、COVID-19への最大限の防疫対策を講じながら対応を図り、公益事業活動を続けてまいりました。

一方、人生100年時代を迎え健康寿命に対する関心の高まりもあり、乳腺エコーや内視鏡の枠拡大などの健診オプション検査の充実を図り、無料医療相談も実施して利便性を向上してまいりました。あわせて、皆さま一人一人に寄り添ったホスピタリティー向上にも日々取り組んでおります。

今後、安心・安全・信頼を基本として昭和22年に当事業団開設以来の理念である生活習慣病の予防と撲滅を目指しながら、人生100年時代を迎え健康で生き生きした人生を享受できるよう、ご利用いただいている皆さまのお手伝いができるように努めてまいります。

生活習慣病の疾病の病因・診断・治療および予防に関する調査研究のための 健診ならびに診療事業

(定款第4条第1号・第2号・第5号事業)

1. 健診研究事業・診療研究事業の取り組み

(1) 健診研究事業・診療研究事業

- ・当事業団の根幹である研究の基礎データ収集のため、健診・診療事業の受診者増に取り組んだ。
このデータをもとに生活習慣病とその他疾病の予防や病因解明の研究にあたり、また、健康啓蒙活動や健康相談においてデータを活用して事業団のテーマである「生活習慣病の撲滅」に役立てた。
- ・健診研究事業においては令和2年度の新規契約や大きな解約などはなかった。
- ・診療研究事業においては令和2年度の延べ患者数が減少した。患者の高齢化により当診療所まで足を運ばなくなったこともあるが、新型コロナウイルスの影響により外出自粛が来院の減少につながった要因であると推測される。

(2) 社会福祉施設無料巡回健診

- ・令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、社会福祉施設無料巡回健診を行わず、公募により選ばれた3施設を対象に3年間実施したデータを研究分析する年とした。

2. 当事業団医師ならびに職員による研究活動

(1) 臨床検査、エックス線検査の統計調査

令和元年（平成31年1月～令和元年12月）に実施した臨床検査項目別の統計、消化器・胸部エックス線検査、エコー検査、CT検査等の撮影実数統計等は「事業年報」第47号に掲載した。

2 生活習慣病等の疾病の予防および健康保持増進のための事業

（定款第4条第2号事業）

1. 生活習慣病健診報告会管理者セミナー

このセミナーでは契約先の担当者を集め、毎年実施しているアンケート結果に基づき、関心の高い講演テーマを取り上げて行ってきたが今年は中止とした。

3 生活習慣病等の疾病の予防・診断・治療に関する啓蒙、啓発および普及事業

（定款第4条第3号事業）

1. 健康セミナー・健康講座の開催

「生活習慣病の撲滅」という事業団のテーマに沿って、健康セミナーを1企画、健康講座を1企画をWebで配信した。

2. 生活習慣病予防の啓発、広報活動

(1) 事業年報の作成・ホームページ掲載

令和元年度（平成31年4月～令和2年3月）に実施した集団健診、診療等統計調査と観察結果などをホームページに掲載した。

(2) 三越厚生事業団ホームページによる情報発信

公益財団法人としての経営情報の開示、公益活動の紹介等を行った。また、診療・健診情報をリアルタイムに更新した。

4 生活習慣病等の予防、診断、治療に関する医学研究助成ならびに研究者への各種助成事業

（定款第4条第4号事業）

1. 三越医学研究助成

生活習慣病その他重要な疾病の予防・撲滅に寄与する医学研究を発展させることを目的に東京都内ならびに東京都近隣の大学医学部、医学研究施設、病院等を対象に生活習慣病とその治療を中心とした研究課題について広く公募し、助成対象者を選抜して助成金を交付した。令和2年度の応募総数は8件で、そのなかより厳正な審査をへて受賞者2名を決定した。

2. 三越海外留学渡航費助成

海外での医学研究や医療技術習得を志す若手医学者で留学先受け入れ研究機関が決まっている者、もしくは海外留学中で留学受け入れ先の研究指導者の推薦がある者に対し、留学費用の一部として渡航費の助成を行った。令和2年度は選考のうえ、2名の受賞者を決定し助成金を交付した。